

令和5年第4回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和5年12月8日(金)・11日(月) 午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件名	答弁者
12月8日(金)	1	岩佐 秀一	1 東部地区土地利用計画について	町長
	2	岩佐 哲也	1 旧坂元中学校校利活用事業について	町長
	3	品堀 栄洋	1 通学路の整備について 2 町道等の安全対策について	町長 教育長
	4	齋藤 俊夫	1 政治姿勢と公約履行について 2 ハラスメントのない誇れるまちづくりについて	町長
12月11日(月)	5	伊藤 貞悦	1 これからの「町づくり」について 2 高齢者施策と福祉関連施策の具体的な対策について 3 感染リスクが高い方への季節性感染症（インフルエンザワクチン）予防接種の支援について	町長 教育長
	6	高橋真理子	1 「住むならやっぱり山元町」のマイホーム取得支援等について 2 洪水や土砂災害時等における山間部の対策や森林の保全・整備等について	町長
	7	岩佐 孝子	1 夢と希望の持てるまちづくりについて	町長
	8	遠藤 龍之	1 高齢者福祉事業の取り組みについて 2 国保事業の取り組みについて 3 保育事業の取り組みについて	町長

(8人 15件)

通告番号	1	9番 岩佐 秀一 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 東部地区土地利用計画について 東日本大震災からまもなく13年を迎えようとしている。津波被害を受けた東部地区の換地作業も順調に進んでいると思うが、耕作放棄地等が多く見受けられるので、有効活用についての考えを伺う。</p> <p>(1) 産業ゾーンとして整備した大谷地等5ヶ所の非農地の利活用。</p> <p>(2) 換地後の宅地や雑種地等の維持管理費や税負担は、換地前とはどのように変化するのか。</p> <p>(3) 県道相馬亙理線周辺の耕作放棄地の有効活用について、町で借り上げ、整備し、家庭菜園とし首都圏住民に提供し交流人口の確保を図る考えはないか。</p>	町 長

通告番号	2	12番 岩佐 哲也 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 旧坂元中学校利活用事業について</p> <p>(1) この事業を取り組むに至ったきっかけ及び公募に至るまでの経過について伺う。</p> <p>(2) 現在の契約状況や業者との計画・実施等に関する交渉の進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 各社ごとの年次計画、人員計画、売り上げ計画、収支見通し、財務計画等、向こう10年間くらいの中長期計画について伺う。</p> <p>(4) 各社ごとの使用場所、スペース及びその場所をどのように利活用するのか等について伺う。</p> <p>(5) 官民共同とあるが、町の財政負担はどの程度までを見込んでいるのかについて伺う。</p> <p>(6) 経営の連帯責任及び一事業体撤退・事業中止等の場合への対応について伺う。</p> <p>(7) 同じような事業の他の自治体の成功事例及び失敗事例の参考事例について伺う。</p> <p>(8) 他の利活用法等について検討したのか、なぜ、これに絞ったのかについて伺う。</p> <p>(9) 今後のスケジュールについて伺う。</p>	町 長

通告番号	3	8番 品堀 栄洋 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 通学路の整備について</p> <p>(1) 今年度を実施した通学路の整備箇所と次年度以降の通学路整備についてはどう進める方針であるか。</p> <p>(2) 国道6号の歩道の照明整備について、町主導で具体的な箇所や対策を申し入れる考えはないか。</p>	町 長 教育長
<p>2 町道等の安全対策について</p> <p>(1) 避難路を補完する町道頭無西牛橋線の道路照明灯や防犯灯の設置はどう進めているのか。</p>	町 長

通告番号	4	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 政治姿勢と公約履行について</p> <p>公約履行には、町内外から信用・信頼される健全な政治姿勢と、行政の長としての健全なリーダーシップが感じられる「人となり、キャラクター」が肝要である。</p> <p>任期の折り返しを迎えつつある中で、町議時代を含めた政治姿勢と体質の健全度を質し、公約を不都合なく履行されることを期待しつつ、その意気込みを伺う。</p> <p>(1) 昨年6月定例会で取り上げられた基本的政治姿勢に関連して「政党政治と町政運営の関係について」伺う。</p> <p>ア 政党政治を否定するようなご都合主義と無節操な態度は、国や県など関係機関等との信頼関係構築、足らざる財源確保、補助事業採択などの面で、町政運営に資することにはならないと思うが如何か。</p> <p>イ 町長選の最中に「某革新政党と政策協定した事実は一切ない。」と否定したが、多くの町民が問題の記事・ブログを閲覧しておりコピーも存在する。虚偽答弁とならないのか伺う。</p> <p>(2) 危機感を持ったオープンな事件対応について</p> <p>ア 町全体のハラスメント対策には無関心、無頓着で危機感が全く感じられない。昨年の12月定例会では、町職員に対する「公務執行妨害罪相当」のパワハラ事件を議会前の全員協議会で説明したとして、本会議での一般質問への答弁を拒否したのは、密室協議であり隠蔽体質を露呈した。改めて、そうした取扱に問題はないのか伺う。</p> <p>(3) 町内外から信用・信頼される良好な関係構築について</p> <p>ア 令和3年3月の当初予算案に対して、予算審査特別委員会と本会議での異なる賛否表明や、県施工の避難道路「県道山下停車場線」の道路改良工事を遅らせた用地買収協力姿勢の欠如、町議退職時の手順違いによる一部事務組合議会に対する迷惑行為、やまもと地域振興公社の社長交代時の業務引き継ぎ未了など、対応がちぐはぐで一貫性がなく基本的な対応姿勢が欠如している。町内外から信用・信頼される良好な関係構築に支障ないのか伺う。</p> <p>(4) 公約に魅了された町民・有権者の期待を裏切らない為には、負託された任期内での実行・実現力を発揮し、結果を示すことが求められる。前期の実績見込と後期の実現見通しについて、意気込みを伺う。</p>	<p>町 長</p>

通告番号	4	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>2 ハラスメントのない誇れるまちづくりについて パワハラなどのハラスメントが社会問題化して久しいが、町内では、以前から村井知事も指摘する優越的な立場にある議員から職員に対する勧誘等に加え、コロナ禍前の議会報告会辺りから、町長の後ろ盾による威圧的言動が次第にエスカレートし、今やパワハラ行為が横行する事態となり、町民や職員、議員は多大な迷惑を被っている。 安全・安心な生活を根底から脅かすハラスメント対策は、喫緊の課題であり、由々しき事態をどのように捉え、どう対処するのか伺う。</p> <p>(1) パワハラを中心としたハラスメントに対する社会的目線をどのように認識し、人権と民主主義を擁護するのか。町内で繰り返されるパワハラ行為の実態把握（令和元年度以降の年度別件数と内容）を含め伺う。</p> <p>(2) 後ろ盾が繰り返している前代未聞の由々しきケースや、議員から職員に対するパワハラ行為を何故止めず、止めさせず放任しているのか。その理由及び撲滅に向けた対処姿勢を伺う。</p> <p>(3) パワハラを中心としたハラスメントの撲滅は、町長の覚悟の問題であるが、町議時代から問題を認識しているにも関わらず、全くの無関心、無頓着を装い放置している。町のリーダーとしての自覚と覚悟のほどを伺う。</p>	町 長

通告番号	5	7番 伊藤 貞悦 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 これからの「町づくり」について 橋元町政が現在実施している「町政懇談会（まだ全地区終了していないが）」について伺う。</p> <p>(1) 町民の声をどのように感じたか。 ア 地区による意識の違いや課題をどのように捉えたか。 イ 年齢や性別による意識の違いや課題をどのように捉えたか。 ウ 全体を通した最重要課題をどのように捉えたか。</p> <p>(2) 町民の要望に対する次の具体的な計画や今後の進め方について ア 町内小中学校周辺の歩道の確保や送迎時の安全地帯の確保 イ 緊急自動車（救急車・消防車）が無理なく走行できる道路の整備 ウ 空き地や空き家に関わる鳥獣対策の具体的な計画を策定する考えはないか。</p> <p>(3) 町民の全体の声を町政にどのように反影させる考えなのか。さらに具体的に進める際は「自助・共助・公助」の観点を考慮して実施すべきと考えるがどうか。</p>	町 長 教育長
<p>2 高齢者施策と福祉関連施策の具体的な対策について</p> <p>(1) 公共交通計画を現在見直しているが、次の必要な各種サービスの先取りはできないか。 ア タクシーチケットを居住地の距離を考慮し配布する考えはないか。 イ 運転免許返納者や介護家族者も利用できる専用無料パスを含む支援の拡充を図る考えはないか。</p> <p>(2) 社会福祉協議会への支援内容に不足はないか。</p>	町 長
<p>3 感染リスクが高い方への季節性感染症（インフルエンザワクチン）予防接種の支援について</p> <p>(1) 乳幼児、小中学生、高齢者の接種費用の無償化を図る考えはないか。</p> <p>(2) 乳幼児保育や学童保育の関係者及び教職員や役場窓口職員等の接種費用の無償化を図る考えはないか。</p>	町 長 教育長

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 「住むならやっぱり山元町」のマイホーム取得支援等について 移住・定住支援補助事業が令和7年3月31日までとなった。支援を得た若い世帯の方達等の新築した家が、作田山団地や太陽ニュータウンには多く見られる。2団地内や他所にもまだ空き地や空き家があり移住者等の呼び込みが期待できる。しかし、一方では、町内各所に雑草や枯草等が繁茂したまま放置され管理されていない空き家や空き地が散見され、美観を損ない団地等や町のイメージダウンにも繋がることから次のことについて伺う。</p> <p>(1) 空き地対策について ア 近隣住民からの苦情には、先方が対応しない等限界が見られるが、「空き地に繁茂した 雑草等の除去に関する条例」等を制定している自治体もある。本町でも検討する考えはないか。</p> <p>(2) 空き家等対策について ア 空き家等対策が進められているが現在の進捗状況について伺う。 イ 空き家等対策の条例制定について令和5年度に対応を検討するとしているが、空き地対策と併せた条例制定の考えはないか。 ウ 新たな移住・定住支援事業として空き家の家財を持ち主と一緒に片付ける「空き家片づけ隊プロジェクト」等は移住者の住まいの受け皿を増やし、空き家等対策の一環として考えられるが取り組む考えはないか。</p>	町 長
<p>2 洪水や土砂災害時等における山間部の対策や森林の保全・整備等について 町面積の3割が阿武隈高地等でその山の多くは民有林だが、その大部分が森林の循環利用が図られていない。 昨今、局地的豪雨等でどこでも災害は起こり得ると言われ、本来の森林の果たす役割に声を上げる研究者も多い。山地災害防止並びに森林資源の有効活用等を通し公益的機能循環を考慮した取り組みが必要と考え次のことについて伺う。</p> <p>(1) 県の管理する治山ダム、砂防ダム等の所在の管理やパトロール等について、町と県はどのような体制を取っているのか。</p> <p>(2) 令和元年から全自治体に森林環境譲与税が譲与されている。森林の整備の促進に関する施策等に要する費用に充てなければならないとされているが、本町では森林環境整備基金として積み立てたままだが、今後の取り組みについて伺う</p> <p>(3) 適度な間伐等で持続的な森林を維持する「自伐型林業」に着目する自治体や団体が増えてきている。そういった事例や山林の整備や活用等を目的とするNPO法人や地域住民等と森林所有者を町が繋ぐという取り組みを図る考えはないか。</p> <p>(4) 地域住民や交流・関係人口を活かし、森林環境ボランティアの育成・支援の取り組みを図る考えはないか。</p>	町 長

通告番号	7	11番 岩佐 孝子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 夢と希望の持てるまちづくりについて 東日本大震災からもうすぐ13年目。甚大な被害により復旧・復興計画・事業は最終段階を迎えております。 これまでの進捗状況や各種事業をどのように点検・評価し、今後のまちづくりを推進していくのかについて伺います。</p> <p>(1) 新たに整備した公共施設（付帯施設含む）等は、計画どおりに進められてきたのか。</p> <p>(2) 災害時における避難路の確保・整備について</p> <p>(3) 「子育てしやすい環境整備」を推進していくため移住定住促進や保育所建設等について</p>	町 長

通告番号	8	3番 遠藤 龍之 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 高齢者福祉事業の取り組みについて 町民の意向調査によると、「高齢者福祉」は重要度の高い施策とされている。とりわけ、高齢化の進行とともに一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の増加が見込まれ、高齢者の暮らしを見守り、支える仕組みづくりが必要であると懸念されているが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の対策が懸念されているが、この間の特徴的な取り組み、実績、そして実情にあった今後の対策は。</p> <p>(2) 足の確保が求められているが、「地域公共交通計画」での位置付け等、その対応は。</p> <p>(3) 一人暮らし、高齢者夫婦世帯の生活実態は把握されているか。</p> <p>(4) 補聴器購入に助成の考えはないか。</p>	町 長
<p>2 国保事業の取り組みについて 長期にわたる経済停滞と暮らしの困難によって、家計が疲弊し切っているなかの物価高騰は、町民の暮らしにとりわけ深刻な打撃を与え、暮らしは大変。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 収納対策の現状、取り組みは。</p> <p>(2) 「応能・応益」割合の考え方は。</p> <p>(3) マイナ保険証の取り組みの現状は。</p> <p>(4) 国保税の引き下げを。</p>	町 長
<p>3 保育事業の取り組みについて</p> <p>(1) 「山元町子ども・子育て事業計画」で示している推計児童数、施設利用見込み量等についての実態は。</p> <p>(2) 待機児童対策等、これまでの対策の進捗は。</p> <p>(3) 保護者が育休を取得している際の保育受け入れ対応について</p>	町 長